

変わる社会（時代と共に、社会は必ず変化する。それが人々の変化をももたらす。）

その昔、日本では家長を中心とする「大家族主義」であった。これは農業を中心とした閉鎖的な社会であり、村から出ているのは芸人・職人・僧侶などの宗教者と限られていた。

しかし、戦後の集団就職や出稼ぎで一気に社会は解放され、大家族は「核家族」へと変化した。また、仕事で転勤を余儀なくされると、家族で赴任地へと移り住み、中には赴任先を転々とする家族もあった。その後、子弟の教育や伴侶の希望により、核家族は更に分裂し「単身赴任」という形が一般化した。

母親と子供・父親とは別々の生活となり、「1人1世帯」という日本独特の生活形態を生んだ。そして、「ワンルームマンション」という諸外国では例の少ない住環境も出来た。諸外国での人々の最小単位は家族であり、1人の場合は必ず「ルームシェア」となり、1人で過ごすことは少ないという。

1人1世帯が進む日本では、「地縁・血縁」をも外れ「無縁」という現象も現れ、孤独死という末路まで生じることとなっている。高度に分業化された社会では、誰の世話にならずとも生きていけるという錯覚もあり、人つながりではなく、単に社会とは経済という金つながりだけになっているのでは。

常任幹事会(同窓会の会長や副会長などの役員とは別に、様々な議題や問題を討議する場面)

この幹事会は、毎年年度初めに前年度の会計報告及び年度の事業計画策定に参加する。これ以外に、随時発生する議題や問題に対して招集され、討議しこの決定を補助する。ここ2年間は、コロナ禍でもあり、事業計画が出せない状況にありますが、今年度は既に2回招集された。

1回目は、令和3年4月21日 総会の開催と議題の討議である。総会での前年度会計報告の終了後、中学校より希望のある「ウォータークーラ」の寄贈及び設置について討議され、これが了承された。8月に工事及び設置がなされ、中学校へ寄贈された。(「同窓会だより」1号を参照下さい。)

2回目は令和3年10月12日に開催され。「同窓会だより」の校区内自治会(14町内)の回覧板での回覧についてと、来年度の控えている75周年大同窓会の記念事業についてが議題でした。

回覧板での回覧の為には、14町内の回覧板総数に対する印刷及び配送費用が掛かります。75周年記念総会事業を控えて、出費の抑制も必要ですので、回覧ではなく、公会堂の掲示板にポスターにして掲示する案とし、75周年記念はコロナの影響を配慮して、来年度開催にこだわらないで開催する方向でした。



於：板屋町会館 幹事会討議風景

「同窓会だより」掲載記事募集

- ①クラスOB会・部活OB会などの写真とお便り
- ②私の会社紹介：氏名・何回生・写真・お便り
- ③私のお店紹介：氏名・何回生・写真・お便り
- ④同窓会への意見や要望

八幡中学校同窓会事務局 代表 白井 鉄男
連絡先：〒430-0928

浜松市中区板屋町612-402

TEL/FAX：(053)489-6391

ironman29@hotmail.co.jp

八幡中学のホームページに「同窓会だより」のコーナーがあり、スマホやパソコンで見られます。
皆様の友人や同級生にも教えてあげて下さい。この「同窓会だより」は毎月発行します。